

ビジョンの主な変更点

人材育成・確保の支援

3 産業の動向 (1) 製造業

【方向性】P17 ○人材育成に関する **記述追加**

■産業発展の基盤となる人材の育成・確保

ものづくり産業を支えるため、技術者の育成・確保やイノベーションが生まれやすい環境づくりをめざします。特に、本圏域の経済をけん引してきた製造業については、技術を承継する人材の確保を図ると同時に、AI・IoTなど成長分野の新たな技術を開発し生かす人材の育成に取り組みます。また、生産年齢人口の減少に伴い、企業が継続雇用者の活用などの対応策で労働力の確保に取り組む中、高齢者や女性の更なる活躍を促進します。

仕事と家庭の両立

3 産業の動向 (1) 全産業

【方向性】P15 ○仕事と家庭の両立支援 **項目追加**

■仕事と家庭の両立支援

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に取り組みます。また、仕事と家庭生活との両立を困難にするとともに、女性のキャリア形成を阻む原因となっている長時間労働等の課題を解決するため、働き方改革を推進します。

観光振興による圏域の活性化

3 産業の動向 (4) 観光関連産業

【方向性】P21 ○観光振興に関する **記述追加及び項目変更**

■圏域の魅力を活かした広域観光の推進

圏域内の主要観光地とその他の地域資源（食ブランドなど）や体験（サイクリングなど）について、ストーリー性をもって結ぶことにより、圏域内での広域観光を推進します。また、広島県や岡山県との連携を強化し、観光客の周遊性を向上させるとともに、魅力の発信に取り組みます。

■インバウンド観光の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、増加が期待される外国人観光客の受入体制を充実させるため、多言語対応等に取り組むとともに効果的な圏域のプロモーションを推進します。

地域公共交通対策

4 都市機能 (2) 広域的な都市基盤の整備

【取り巻く環境】P25 ○公共交通に関する **記述追加**

○備後圏域は、鉄道やバス路線が県境を越えてつながっている地域であり、各交通機関とも利用者の減少により、路線の維持・確保が非常に厳しい状況にあります。

○福山市と笠岡市においては共同で、地域公共交通にかかる計画を策定し、だれもが移動しやすく、人の交流が活発になる地域公共交通の実現に向けて取り組んでいます。

医療連携の充実

4 都市機能 (1) 高度医療

【取り巻く環境】P22 ○二次医療圏に関する **記述追加**

○「福山・府中二次保健医療圏」は岡山県井笠地域と救急医療について、県境を越えて相互に連携しています。また、小児救急医療拠点病院及び総合周産期母子医療センターが設置されておらず、特に小児救急医療の高度拠点化は喫緊の課題となっています。

○県境を越えた医療広域連携体制の構築に向けて検討を行う「広島・岡山 県境を越えた医療広域連携会議」が2017年（平成29年）7月に再開され、緊急医療、小児救急医療、周産期医療の連携に向け協議が行われています。

その他 変更点

5 住民サービス (8) 歴史・文化・芸術

【取り巻く環境】P39 **新設**

○2017年（平成29年）に築城450年を迎えた三原城に続き、2022年（平成34年）には福山城が築城400年を迎えるなど、圏域内の歴史資産への注目度が高まっており、効果的な活用が求められています。

○文化庁は、地方自治体が文化財保護行政を進めるための基本的な構想として、「歴史文化基本構想」（2007年（平成19年）提唱）の策定を推進しています。

○「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」（2008年（平成20年）11月4日施行）に基づき、歴史的風致維持向上計画を策定し主務大臣の認定を受ける市町村が増えています。

○圏域内においては、ふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ）など文化施設の利用件数が増加し、連携中枢都市として圏域住民の自主的な文化活動が引き続き促進されるよう、優れた芸術文化に触れる機会のさらなる充実が求められています。

ビジョンの主な変更点

その他 変更点

5 住民サービス (8) 歴史・文化・芸術
【方向性】P41 新設

【方向性】

■歴史資産の活用

本圏域の住民共通の歴史資産である史跡や重要伝統的建造物群保存地区を活用し、文化や歴史の観点から備後圏域全体を盛り上げていきます。

■芸術文化の振興

全国に誇れる音響特性を有するふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)を拠点施設として「ばらのまち福山国際音楽祭」を開催するなど、圏域内の地域資源を活かし、芸術文化の振興を進めながら、地域の活性化に取り組みます。

5 住民サービス (7) 地域振興

【方向性】P38

○デマンド交通等の移動手段の充実に関する 記述追加

○大学との連携による地域振興 記述追加

5 住民サービス

(4) 安心・安全

【取り巻く環境】P34 新設

【方向性】P34 新設

(6) 行政サービス

【取り巻く環境】P36 新設

【方向性】P36 新設

(5) 環境の保全

【取り巻く環境】P34 新設

【方向性】P36 新設

KPIの変更点

びんご圏域ビジョンの中間評価等に係る住民及び事業者アンケートの実施結果に基づき、今後柱となる施策を6つ設定した。これらの柱となる施策に関して、今後の事業者へのヒアリング等の内容を含めた中間評価により取組を追加・拡充するもので、実績値が目標値に到達するもの又は見込みのあるものについては、KPIの上方修正を行う。

柱となる施策	主な事業	KPI			
		指標	実績値	目標値	修正案
①-1 人材育成・確保の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・備後圏域創業促進事業 ・ものづくり人材育成支援事業 ・若年者就職支援事業 ・福祉・介護人材確保等総合支援事業 ・大学連携の推進 	製造業従業者数	81,374人 (2016)	81,900人以上	現状維持
		大卒者の圏域内就職率	35.5% (2016)	40.0%	現状維持
①-2 仕事と家庭の両立	・女性の人材育成	女性の労働参加率 (30~34歳)	69.5% (2015)	67.5%以上	上方修正 (案) 69.5%以上
② 観光振興による圏域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ振興推進事業 ・備後圏域サイクリングエリアの構築 ・備後圏域PR事業 	総観光客数	23,268千人 (2015)	24,000千人	上方修正 (案) 24,800千人
③ 地域公共交通対策	・地域公共交通再編実施計画策定	市街地等居住率	69.7% (2016)	69.85%	現状維持
④ 医療連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・医療スタッフ確保対策の強化 ・看護職員確保対策事業 ・圏域内公立病院等連携事業 	看護師等の圏域内就職率	64.7% (2016)	60.0%	訂正 (案) 68.8%
⑤ 地域包括ケアの構築など福祉施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者徘徊SOSネットワークの備後圏域への拡大 ・日本郵便との協定締結による高齢者見守りの実施 	介護を必要としている高齢者の割合	20.8% (2016)	22.8%	現状維持
⑥ 健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの共同育成と広域的な活動の推進 ・備後圏域ヘルスツーリズム 	運動普及推進員、食生活改善推進員総数	2,902人 (2016)	3,420人	現状維持

※KPIの上昇に直接関係しない事業を追加・拡充するものについては考慮しない。

※③、④については、住民サービスのKPIにDI値を設定しているが、中間評価の結果、減少しているため検討しない。